活用事例を通して、やさしい日本語について考えませんか？

# 第6回 やさにちフォーラム

イメージキャラクター
やさカニくん

**日　時**　2026年 2月 20日（金）
14:00～16:30（予定）

**参加費**　無料

**開催方法**　ウェビナーによる **オンライン開催**（終了後のアーカイブ配信あり）
＊アーカイブ配信の視聴用URLはライブ配信終了後に準備が整い次第、お申込み者全員にお送りします。

**対　象**　やさしい日本語に関心を持つ方

**定　員**　200名

**申込締切**　2026年 2月 19日（木）
＊アーカイブ配信の視聴のみ希望される方も事前にお申し込みください。

**申込方法**　下記の申込フォームか QRコードよりお申し込みください。
https://forms.office.com/r/dLbedCH9f2

**登 壇 者**

講演
明星大学
菊池 哲佳 氏

事例発表
東京消防庁
三枝 翔 氏

事例発表
立正大学・一般社団法人
スローコミュニケーション
打浪 文子 氏

事例発表
つながろう会
Multicultural Japan
力石 マルシア 氏

**「やさしい日本語でつなぐ、安心 ～だれかを守るやさしい日本語から、みんなのためのやさしい日本語へ～」**

阪神淡路大震災後、災害時の外国人への情報伝達手段として生み出された**やさしい日本語**は今、
医療、行政、教育など幅広い分野で、さまざまな対象に向けて活用されるようになっています。
”言葉のユニバーサルデザイン”ともいわれ、共生社会の情報保障には欠かせない**やさしい日本語**について、
講演と活用事例の発表を通じてみなさんと一緒に考える時間にできたらと思います。
みなさんにとって、新たな取り組みのヒントやアイディアを得る機会となれば幸いです。

**主催：**
公益財団法人
東京都つながり創生財団
Tokyo Metropolitan Foundation "TSUNAGARI"

**<問い合わせ先>**
多文化共生課 やさしい日本語普及啓発事業担当
TEL：03 – 6258 - 1238 Mail: yasanichi@tokyo-tsunagari.or.jp

# やさにちフォーラム　プログラム

**講　演**

**安心を届けるやさしい日本語**

明星大学 人文学部 国際コミュニケーション学科 准教授　　菊池 哲佳 氏

**事例紹介①**

**やさしい日本語で防災について学ぶ**

東京消防庁　　三枝 翔 氏

**事例紹介②**

**”わかりやすさ”の必要性とその広がり**

**― 一般社団法人スローコミュニケーションの取り組みから ―**

立正大学 社会福祉学部 准教授
一般社団法人スローコミュニケーション 副理事長　　打浪 文子 氏

**事例紹介③**

**コミュニケーションの壁を乗り越えるには**

つながろう会 Multicultural Japan 代表　　力石 マルシア 氏

**質疑応答**

**東京都都民生活部からの報告**

**東京都つながり創生財団からの調査報告・お知らせ**

## ～出演者プロフィール～

**菊池 哲佳（きくち あきよし） 氏**

明星大学人文学部国際コミュニケーション学科 准教授。2000年に仙台国際交流協会（現在の仙台観光国際協会）に入職後、防災事業、外国人相談事業、地域日本語教育事業を担当し、多文化共生の地域づくりに取り組む。2011年の東日本大震災では、仙台市が設置した仙台市災害多言語支援センターの運営に携わった。博士（政策・メディア）。主な論文として『「多文化共生」の実践としての「やさしい日本語」―自治体施策の現場に見る「やさしい日本語」の考察』。

**三枝 翔（みえだ なつる）氏**

東京消防庁防災部防災安全課勤務。消防司令補。平成22年4月に入庁し、江戸川消防署、板橋消防署、渋谷消防署等で防災訓練指導などの業務に従事。令和5年10月から防災安全課で在留外国人に対する防災訓練指導についての業務を担当している。現在は、各消防署が在留外国人に対して「やさしい日本語」を用いた訓練指導ができるように環境づくりを進めている。

**打浪 文子（うちなみ あやこ） 氏**

立正大学社会福祉学部准教授。知的障害等で日本語の理解に難しさがある人向けに平易な日本語で情報提供を行う非営利団体「一般社団法人スローコミュニケーション」を2016年に創立、副理事長を務める。著書に『知的障害のある人たちと「ことば」―「わかりやすさ」と情報保障・合理的配慮』（単著、生活書院・2018年）、『〈やさしい日本語〉と多文化共生』（共著、ココ出版・2019年）などがある。

**力石 マルシア（ちからいし まるしあ）氏**

つながろう会 Multicultural JapanとOPEN HEARTSの設立者で代表。ブラジル生まれの日系二世で、神戸大学在学中に阪神淡路大震災を経験。多言語での情報発信・つながりのきっかけとなるイベントの開催・相談対応・講演会やワークショップ等の実施を通して、インクルーシブな社会の実現を目指している。